

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 9 月 22 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4271401392		
法人名	社会福祉法人 瑞幸会		
事業所名	グループホームみずほの里		
所在地	長崎県雲仙市瑞穂町古部乙 1392-1		
自己評価作成日	平成 23 年 9 月 22 日	評価結果市町受理日	平成 23 年 11 月 15 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 1 階		
訪問調査日	平成 23 年 10 月 26 日	市町村受理年月日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

- ・事業所の敷地内に畑があり、利用者様と共に季節の野菜作りが楽しめます。
- ・四季毎にサクランボ、みかん、栗、さつまいも等の収穫ができ、その場で焼き芋をする等して味わうこともできます。
- ・誕生日にはご家族の皆様へも案内を行い、共に祝って頂いております。
- ・特養に併設されて立地している為、経験豊かなスタッフが揃い、行事やイベント等へも積極的に参加しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

団結力のある地域性にも恵まれ、利用者と職員との距離感が無く、家庭的で終始笑い声の絶えない事業所である。利用者夫々に楽しみごとを見つけ自由に生活され、家族会等も沢山の参加があり活発な意見交換も行われている。また、地域婦人会、老人会等との交流も盛んに行われており近隣中学校からの体験学習の受け入れも毎年実施され、地域に密着している。職員も経験年数にバランスが取れ、施設長を筆頭に和やかな中にも規律ある対応がなされ、今後益々期待の持てる事業所である。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>職員一同、理念の共有に努めている。今後も意識を高めることとしたい。</p>	<p>理念を掲げるだけではなく具体化するため実践の中で、職員一人一人が意識し笑顔や、ゆとりのある支援に努め、毎月職員会議等で都度確認している。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>瑞穂町主催の文化作品展への出品、地域子供会・老人会等を招いての納涼祭開催、自治会奉納踊り等、地域の方々との交流を図っている。</p>	<p>毎年地域文化祭へ利用者作品の展覧、老人会出席、その他各種行事参加と地域との交流は活発に行われている。町内会へも加入されており地域と共に歩んでいる事業所である。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>島原広域市町村圏組合主催の「家族介護教室」事業を開催し、地域の方々に対し、介護技術方法・介護保険の概要等の実習や講演を実施させて頂いた。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヵ月毎の開催に努め、運営推進会議の場で直に頂いた意見に関しては、その後のサービス向上に活用すべく、心掛けている。</p>	<p>地域、利用者代表、行政の担当者が毎回参加されている。最近では行政が指定した地域包括支援センター職員の参加で事例研究など色々な提案が積極的に行われ、有意義な意見交換が行われている。</p>	
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>併設特養の絡みもあり、市町担当者との連携は強化できている。今後も島原広域市町村圏組合・雲仙市・瑞穂町との積極的な連携を図っていきたい。</p>	<p>施設長自ら市町村の各種福祉に関する会議に参加し情報収集、意見交換が行われている。昨年からの地域ケア会議も町内各事業所参加で毎月開催されている。</p>	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束廃止委員会を開催し、正しい知識の習得に努め、身体拘束をしない介護の実践に努めている。</p>	<p>法人内研修会、外部研修会等を通じ身体拘束に関する職員への意識付けを行っている。日ごろの支援活動の中で夫々が問題提起を行い都度話し合いを行っている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人内の全職員参加による「高齢者虐待防止」関係の研修の復命報告会を実施。今後も注意を払い防止に努めていきたい。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>全体会議の場において、権利擁護事業・成年後見制度を学び、職員間での相互理解に努めている。また、必要な場合はそれらの活用を実施することができるよう支援している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者様本人及び御家族に、入所の際書面にて説明を実施し、同意を得るようにしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置、第三者委員の委嘱を実施。日常の会話の中で意見等を傾聴するよう心掛けている。また、運営推進会議の場において、御家族からも必ず意見を頂くよう心掛けている。</p>	<p>利用者、家族が何でも話しやすい環境を提供するため家族会等を活用し、複数での和やかな雰囲気作りに努めている。運営推進会議の活用も行っている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のように法人全体会議を開催し、全職員出席の下、意見や提案を挙げる場を設けている。</p>	<p>毎月開催の法人会議終了後事業所の職員全員参加での会議を開催し利用者、業務に関し話し合いを行っている。又管理者はOJTを通じて職員意見の聴取に努めている</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>日々の勤務の中で、職員との会話の機会を創出し、志を高くもつことができるよう、心掛けている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎年度初めに研修計画を作成。施設内外問わず、研修への参加、出張復命の場を提供し、職員の育成に努めている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>島原半島内におけるGH協議会に参加し、他事業所との交流の場を創出、サービスの質の向上への取組みを実施している。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者様あつての私達であるという認識の下、人生の大先輩であるという気持ちを持ち、介護をさせて頂ける喜びを感じながら、信頼関係の構築に努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面会等の際にできる限りの会話を実施するように心掛けている。季節毎に発行する広報紙にも個々の方々のコメントを入れさせて頂き、御家族への報告、信頼関係の構築・相談等を実施している。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者様(ご本人)と御家族様との会話を重要視し、他サービスも視野に入れ、柔軟に対応させて頂くような対応を心掛けている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>お一人おひとりの人格を尊重し、言葉掛けや対応を行い、共に支え合う関係の構築に努めている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>御家族の御意見にも常に耳を傾け、共に支え合う関係の構築に努めている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている</p>	<p>外出・外泊等が安心・安全に実施できるよう、職員より状態説明等を充分に実施するよう努めている。今後も、できる限りの交流・関係継続の支援を実施していきたい。</p>	<p>手紙、電話、地域の交流会等を利用し利用者の生活履歴などの情報を収集し関係継続の支援が行われている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様の状態を観察し、会話の促進等が日常的にできるよう支援に努めている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院された際等において、時々病院まで伺う等している。特に御家族が高齢であったり、遠方に在住の利用者様については御本人様の不安の軽減に努め、御家族の方々へ状態報告を密に行う為に病院へ</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>常に利用者様の立場に立って、会話をし希望・意向を汲み取ることができればと心掛けている。</p>	<p>利用者が言葉に出しづらい事もあるので日々の行動、表情から意向を汲み取り出来る範囲で利用者の自主性を尊重した支援活動を行っている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>御利用前の担当ケアマネより情報の収集、御本人・御家族と話をすることで、今までの暮らしや生活等について把握をするよう努めている。また、日常の会話から気付きに心掛けるようにしている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>自立支援を念頭に、利用者様一人ひとりと共に庭や畑等の環境づくりや趣味・リハビリ等を実施している。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者様個々の特性を基に、特徴に基づいた利用者様主体の介護計画作成に取り組んでいる。</p>	<p>毎月のケア会議時に担当者とは他職員も含め課題を協議しプランの作成を行っている。事前に家族との話し合いも行い家族の困り事等の情報を得て希望を取り入れた介護計画を作成している。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者様一人ひとりに合った役割をもって頂き、毎日実施確認表を記載している。また、個別記録・申し送り帳に毎日の状態の変化等を記入し、情報の共有を行い見直し等を実施している。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者様一人ひとりの要望に応じた対応を心掛けている。併設特養にて機能訓練を希望される方には、その都度柔軟に対応をさせて頂いている。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>様々な行事等に地域の子供会や老人会の方々、中学生等が参加をされ、共に協力しながらイベントを行い、利用者様の支援を実施している。</p>		
30	11 <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院・協力歯科医院以外で御家族が受診を希望された際は、希望される医療機関にて受診をして頂くよう柔軟に対応し、連携を図っている。</p>	<p>かかりつけ医については本人、家族の希望を尊重している。現在は全員協力医の受診で定期的な往診も行われている。</p>	

31	<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>嘱託医師または併設特養の看護師に随時相談を実施し、適切な支援を実施している。</p>		
32	<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院先の医療機関と定期的な話し合いをもつことで、連携を図るよう実施している。また、普段からの関係づくりに供え、経験豊かな常勤の看護職員を配置している。</p>		
33	12 <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取指針を作成、御本人様御家族等との話し合いを実施し、同意書にて方針を共有している。また、職員全体で重度化や終末期に向けた取り組みを実施している。</p>	<p>基本的には入所時に看取りケアの説明を行い了解を得ている。以降随時の意向把握を行っている。職員の半分は併設の介護施設にて看取り経験があり看護師とも連携し全職員で共有した取り組みを行っている。</p>	
34	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急事態の対応マニュアルがあり、応急手当等の実技指導も実施し、全職員が熟知している。</p>		
35	13 <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>過去に地域の消防団も参加して頂いた上、避難訓練を年間2度実施している。また、毎月2度出入口の確保・消火器位置・非常灯・懐中電灯に異常がないか、確認を実施している。</p>	<p>年2回消防署立会いでの訓練を実施している。地域の自治会、班長等を通じ参加案内を行っているが最近では参加には至っていない。利用者個人情報ファイルを作成しており緊急時の持ち出しは可能である。備蓄は法人が確保している。</p>	<p>法人で災害時の備蓄は準備されているが利用者、家族の安心のためにもグループホーム自体に備蓄は必要と思われる。今後の取り組みに期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報について施設内研修を実施、個人情報に関する指針を策定し、一人ひとりの人格を尊重した言葉掛けや対応を実施している。	基本的に利用者を尊重し名字にて呼びかけを行うなど、プライバシーや尊厳に配慮した声掛けを職員同士で話し合いながら行っている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の自己決定を最大限尊重し、雰囲気づくり等配慮しながら、働き掛けを実施している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様個々の希望をしっかりと受け止め、その日の様子・状態等を見ながら、対応するよう心掛けている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自ら衣類を着用される為、季節とかけ離れた服装の場合は声掛けを行い着替えて頂いたりもしている。できるだけ個性を重視した支援を実施している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に食事を摂取して頂き、常時お声掛けを行い、利用者様・職員共に楽しく食事を実施し、片付けも実施している。	併設事業所の献立を参考に、近くの産直市場等にて季節の材料等を仕入れ利用者の希望も考慮し献立を考え、能力に応じ手伝ってもらいながらの家庭的な食事風景である。職員も全員同じ食事を摂っている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設特養の栄養士と相談し実施している。おおよそ1日当たり1300～1600kcalの摂取を心掛けている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、イソジンを使用した毎日のうがいを実施し、日常的な口腔ケアを実施している。		

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>常時おむつをされている利用者様はいらっしやらない。今後も可能な限り、自立に向けたトイレ誘導を実施していくよう支援することとする。</p>	<p>排泄パターンを把握し、声掛け誘導を行い自立に向けた支援を行っている。声掛けにはプライバシーに配慮し小声で行うように工夫している。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表を活用し、排便が無い場合は運動・腹部マッサージ・水分等の飲水に心掛けている。また、嘱託医師に状態報告し、指示を仰ぐ場合もある。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者様の希望に合わせた入浴を行うよう心掛けている。入浴の時間帯は主に午前中に実施し、バイタル測定を含め、その日の状態観察を行った後の入浴促しに努めている。</p>	<p>一日おきの入浴実施であるが、利用者の希望を尊重し対応している。皮膚疾患等利用者の身体状況を考慮し清拭、部分浴を行っている。拒否される利用者には声掛けに工夫し清潔保持に努めている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>御利用者様の健康状態に応じて、担当医師や看護職員の指示の下、休息し安眠が図れるよう支援させて頂いている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の管理は特に重要事項でもあるので、嘱託医師の指導の下、支援・管理している。また、薬一つひとつの詳細な内容等を職員間で十分に把握するよう努めている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>御利用者様一人ひとりに合った役割をつくり、楽しみや出番を見出すような場面づくりを支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>申し出がある際は、気分転換も兼ね、付き添いながら散歩等に出掛けるよう支援している。今後更に多くの機会を作るよう支援していきたい。</p>	<p>利用者の希望にあわせ衣料品店、種苗店等へ利用者1人に職員2名体制で出掛けている。季節ごとに天気や温度を肌で感じてもらうように車での外出も度々実施している。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>御利用者様個々の状態を把握し、御家族とも協議を重ねた上で、利用者様のご希望に沿うことができるよう支援を実施している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>御利用者様御本人の希望時には電話・手紙等の実施・支援を実施している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室入口の木製の表札により、親しみやすい柔らかいイメージで、御利用者様にも馴染みやすいと思われる。また、ゆったりした、あたたかい穏やかな環境をつくるよう心掛けている。また、その場の雰囲気に合わせて調整も実施している。</p>	<p>リビング兼食堂は天井が高く採光にも優れた明るい空間で数箇所に観葉植物なども配置され、清潔な環境である。建材も温かみのあたる色合いで統一されており落ち着いた雰囲気となっている。事業所敷地内には公園もあり、実のなる木々に囲まれ季節感も感じられる。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間において、安全でできるだけ自立した生活を送ることができるところを考慮し、ソファの位置等、環境設備の工夫を実施している。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御家族とも相談し、御本人様を使い慣れたものや好みのものを使用し、居心地良く過ごして頂けるような試みを実施している。また、御家族に対しても持込みをお願いしている。	利用者の使い慣れた家具、思い出の品が置かれスペースにもゆとりがあり各室利用者の好みに合った整頓がなされ臭いもなく、明るく快適な居室となっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立歩行不安定な御利用者様の転倒予防に努める為、共有空間の整理整頓に努め、廊下等には手摺を備え付けてある。また、御本人の居室には木製の表札を掛ける等、工夫を行っている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない